

## 「子供向け英語DEドラマ」にお申し込みの保護者の皆様へ

お子様をお預かりするのは1時間～数時間という短い時間ですが、子供たちに夢中になって輝いて欲しいそんな願いをこめてこのプログラムを行っております。

この「子供向け英語 DE ドラマ」に求めているのはマーブルズの根底に流れているものと同じです。

### 「夢中になるから英語が話せる」

暗記してしまった英語の台詞を発表するのが目的ではなく、言いたいから言えるようになった台詞、夢中になって言えるようになった台詞が続いて劇になる。

これがマーブルズの目指している劇作りです。

一番大切にしたいのは子供たちと一緒に過ごすリハーサルの過程です。

その結果として発表があります。

もしかしたら、本番は緊張して声が小さくなるかもしれません。

お母さん、お父さんが見ていて うれしくなり とてもよくできるかもしれませんし、その逆かもしれません。

言っている台詞は一時間前知らなかった英語のフレーズかもしれません。

ですから、自信を持って大きな声で言えないかもしれません。

色々なことが考えられますが何事も経験です。

本番だけがこの「英語DEドラマ」の結果ではありません。

みんなで同じ目的に向かったのだという過程、

リハーサルの間中 一生懸命、新しいお友達、知らない先生と、新しいことに挑戦したという経験、

今まで知らなかった英語のフレーズに出会う緊張、不安、喜び

英語劇を通じて自分表現する。

どれも大切にしたい要素です。

そして、最後にお父様、お母様に成果を見せ

褒めてもらう！！！！

ここが一番大切です。

どんな結果であろうと、子供たちのがんばりに不成功はありません。

もし 不成功に見えたとしたら、私の責任です。

ですから、保護者の方々には子供たちの挑戦を受け止め

お家に帰ったら 「がんばったね～～！」と

自分のお子様を褒めてあげて欲しいのです。

それが次の自信に ステップにつながっていきます。

リハーサル過程がしっかりできていれば

きっと、しばらくしてからそのフレーズを思い出したり

その状況がきたら 英語の台詞を使いたくなったりするのです。

その場では言えなくとも

お家でノリノリに歌を歌っていた。

突然台詞を言い始めた。

よく聞くお話です。

それは私にとってはとてもうれしい報告です。

子供たちが私と一緒に過ごした時間その物語の中にどっぷりつかっていてくれた！

という証だからです。

どの子も一生懸命です。

自分のお子様の輝く目を見逃さないでください。

どうか

「夢中の発表」を できた、できなかったという評価ではなく

暖かく見守ってください。

Every child can be sparkling.

英語芸術学校 マーブルズ代表

小口真澄

## FAQ (よくある質問)

### ● 台詞の声が小さい、もっと大きな声でできないでしょうか？

(小学校1年生 母)

私は、昔 とにかく大きな声というのを命に英語を教えていた時がありました。大きな声ではっきり言える。確かに素晴らしいことです。でもあまりに大きな声ということだけにこだわりすぎ、子供たちが表現している他のいい部分をたくさん見逃してきたような気がしています。大きな声でなくともその場で一生懸命「桃太郎」になろうとがんばっていませんか？「魔女」になろうとがんばっていませんか？劇は台詞だけではありません、シーンの順番、小道具の使い方、立つ場所、他の人とのタイミングなどさまざまなことに気を配らなければ劇になりません。声は小さいけれどもよく状況はわかって動いていませんか？一時間前には知らなかった英語だとしたらどうでしょうか？お母様、お父様方だってきっと大変なことだと思います。本人的にはきっと今できるベストを尽くしているはずで、「英語DEドラマ」も1回目よりも2回目、2回目よりも3回目と声は大きくなってくるはずで、声小さくとも本人達は一生懸命です。お子様のほかのよい部分を見てあげてください。

### ● 台本などを先にもらい準備しておけばいいのではないのでしょうか？

(幼児 年長 母)

台詞を全部暗記してくれていれば講師は、大変楽です。楽ですが、子供たちの台詞は暗記しているのでどこか機械的になり面白みがありません。劇はスムーズに進みますがなんだかドキドキ感がありません。「英語DEドラマ」ではこの場面ではこう言いたい！という部分を英語の台詞にしています。ですから英語との出会いもドラマチックにしたいのです。

### ● 台詞が簡単過ぎるのもっと難しいものでもおぼえられるのではないのでしょうか？

(小学校3年生 母)

「英語DEドラマ」の求めているものは英語の暗記ではありません。長い台詞、難しすぎる台詞はやはりただの暗記になってしまいます。長い台詞をいっていると英語を話したように感じられるかもしれませんが、短くとも同じ意味のことが伝わるもっとパワフルな言葉はたくさんあります。劇の中では、自分の英語力を披露するのではなく、相手に伝える英語を体得して欲しいと思っています。言葉は相手に伝えてはじめて価値のでくるものです。それには、この短い期間で劇作りをおこなうプログラムにはあまり難しすぎる台詞や長すぎる台詞は不適切だとマーブルズでは判断しています。